

CBAP ® 合格体験記
(日本語 : CBT 試験)

株式会社 Flexas Z 稲葉 涼太
受験日 : 2020 年 5 月 1 日 午後
※2020 年 5 月時点での情報となります

■ はじめに

2020 年 5 月に CBAP ®(v3)に合格しました。

BABOK V3 の CBAP 試験は、試験対策の学習方法も受験申込の情報も日本語の情報がほとんどなく、受験対策を開始するまでに情報集めや試行錯誤をしました。

CBAP に興味を持つ方や、CBAP 受験をこれから検討しようとする方の参考になればと思い記載します。

■ 自己紹介

- ・ 本業は、人事業務と人事システムのコンサルタント、PM 支援のコンサルタント、またスクラムマスター/プロダクトオーナーの観点でのアジャイル支援などを行っています。
- ・ パラレルワークでキャリアコンサルタントとして主に IT 人材やプロジェクトベースで働く方のキャリア支援や、大学で非常勤講師として SDGs などソーシャル事業を実現するプロジェクトマネジメントの講義を行っています。
- ・ PMI 日本支部で SDGs スタートアップ分科会のリーダーとして、アジャイルマインドとリーン・スタートアップベースでの SDGs 事業支援活動や、個人のキャリアを考える上でキャリアを一つの事業活動と考えてのアジャイルと PMBOK ベースでキャリア考の講演などの活動をしています

■ 受験動機

- ・ 元々本業でも BA 的な活動はしていましたが、『BA』に興味を持ったのは 2018 年、2019 年に PMI 日本フォーラムで LTS 社の大井 悠さんとの BA とアジャイルなビジネスに関する講演を拝聴したことと、2019 年のアジャイルジャパンで IIBA 濱井 和夫理事の『アジャイル・ビジネスアナリシス』の講演の拝聴がきっかけでした。
- ・ また、濱井理事から匠メソッドと IIBA の関りのお話を伺い、BA という領域と IIBA の取り組みが私の関心領域と近いと感じ、BABOK に興味を持ちました。
- ・ BABOK の体系的な纏まりに強く関心を持ち、かつ CBAP は ITSS の資格対応で最上位の LV4 に 7 つのカテゴリでプロットされているのを知り、学習のモチベーションとして CBAP 資格の受験を決めました。

■ 学習方法

- ・ 受験を思い立ったものの、調べてみるとまず受験資格の前提である 35 時間の専門能力開発教育を行う教育機関が少ないこと、かつ通信教育の実施機関が無く、集合研修は平日開催ですが予定が合わないことが多く受けられない点で躓きました。
- ・ また、試験対策として問題集を解こうにも、BABOK V3 対応の日本語 CBAP 問題集が販売されていないことも躓きました。
- ・ しかし、PMP 受験の時の 35 時間の専門能力開発教育でも通信教育を受けた株式会社 TRADECREATE の E-Project サービスが、2019 年末から CBAP 専門能力開発教育の通信教育を始めたので 2020 年 1 月受講しました。
- ・ 学習方法としては、まず BABOK の通読が基本です。
- ・ 通読し、BABOK の 6 つの知識エリアの体系と名称、ビジネスアナリシス・コア・コンセプト (BACCM) の体系と名称を頭に入れたとともに、BABOK の各章でどんなことが書いてあるのか、概要は頭に入れます。
- ・ しかし、概要だけ頭に入れても試験で出るような正誤問題対策など、細かい用語や言い回しや、あるカテゴリの要素に何が含まれる・含まれないなどの試験対策としては難しいです。
- ・ そこで E-Project のサービスは各章ごとの練習問題と、まとめの 100 問練習問題、120 問の模擬試験があります。
- ・ 100 問の練習問題と 120 問の模擬試験は毎回出題がランダムで入れ替わるので、問題演習でありがちな「答の配置自体を覚えてしまう」ということはありません。
- ・ 正解した問題もですが、特に間違えた問題は BABOK の該当箇所に立ち戻り理解し、常に問題演習で 9 割以上はとれる状態までもっていきます。
- ・ 仕事の合間に BABOK 通読から音声動画と教材ベースの通信教育受講を 2020 年 1 月から 3 月にかけて行い、その後 3 月 4 月で問題を繰り返し解き、5 月 1 日受験し合格しました。

■ 受験申込

- ・ 受験申し込みは結構身構えていました。
- ・ まず、PMI 日本支部の理事でもある伊藤 衡さんの過去の合格体験記を読み、申請の段階で何度も却下がありかつ申込にトラップがあるのを知っていたのでかなり慎重に書かないといけないと思っていましたが、V3 では申請フォームはかなり入力しやすい形になっています。
- ・ 過去の活動説明も、簡単な英文で十分かけるのと過去の活動時間もセル形式で入力され集計も自動でされるので、活動時間実績の不備で却下も発生しづらくなっています。
- ・ また、英文推薦二名の規程も、英文で推薦を書いてくれる方を探するのは結構依頼に頭を悩ませましたが、しかし実際は、申込時に私が推薦者のメールアドレスを登録しただけで、推薦者に英文推薦書の記載依頼は来なかったとのことでした。
- ・ なお、日本語で受験したいときは申込時に「Pay Exam Fee (Get Started)」画面が出ますがこの時点で「Get Started」を押して完了させず IIBA からメールが届きますので、そこに記載されているメールアドレスに日本語で受験したい旨をメールしてください。

■ 受験当日

- ・ 2020年3月にIIBAサイトから試験を申込み、銀座CBTS歌舞伎座テストセンタで5/1の受験を選択しました。
- ・ その後、新型コロナウイルスで緊急事態宣言が出され、IIBA本部にも受験中止の場合のアナウンスのされ方や中止の場合の手続きなどを問い合わせましたが、試験は開催されました。
- ・ 新型コロナウイルスの影響もあって受験会場の受験者は、全体で私1名だけでした。
- ・ 試験の合格ラインは非公表と言われていましたが、受験開始の第一画面に合格基準が書いてありました。正確な数字の公表は控えますが6割程度を目指せばよく、4割程度間違えられと思うと開始時点で気が楽でした。
- ・ 試験は、前半に長文事例を基にした問題が多く、計算問題も多かったです。計算で使う電卓はキーボードが反応せずマウスでしか動きませんでしたので操作が遅くなり、前半は問題総数に対する消費時間の結構ペースが遅くなり焦りましたが、結果的には40分ほど時間を余して終了しました。
- ・ CBTなので終了ボタンを押した瞬間に合格した旨が表示され、その日の内にIIBA本部から合格通知がメールで送付されました。

■ CBAP取得後

- ・ BABOKはBAに対する考え方が体系的に良くまとめられていると思い、CBAP合格はBABOKの内容の習得証明と考えると自信になります。
- ・ PMBOK(PM)とBABOK(BA)はビジネスの両輪だと個人的には考えており、PMとBAの考え方やスキルを本業のビジネスでも一層活かしたいと思います。
- ・ また、不確実性の高いSDGs事業の推進の上でも、アジャイルのマインドを持った上でPMとBAのスキルは不可欠だと思いますので、SDGs推進のためにもBAの知識と考え方を役立たせたいと思います。
- ・ 更に、個人のキャリアを考える上でもこれからは、既存のキャリア論の上にアジャイルのマインドが必要であり、個人のキャリアを事業活動と考えると、個人のキャリアにPMとBAの考え方を取り入れることも必要と思います。
- ・ また資格の利点の一つに、資格者の共通言語を持った人同士のコミュニティ活動の繋がりと社会的インパクトがあると思います。
- ・ 『アジャイル』『キャリア』『SDGs』などのテーマで、IIBAで活動できる機会がありましたら、ぜひIIBA日本支部の活動も今後積極的に関わっていきたいと思います。